

ピスガからの風

第24号

2010年1月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/

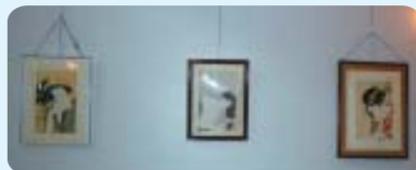
「ピスガ ホールギャラリー」

毎月毎月、素晴らしい作品でホールを飾っていただきました。入居者様、ご来訪の方々も感心しきりでした。

皆様のご協力で素敵な絵画を展示いただき感謝です。お陰様で、ロビーが楽しく夢のある空間になりました。

〈9月〉森 清子様 贈浮世絵展

〈10月〉古橋美鳥様 日本画展



〈8月〉北村美代子様 書道展



〈8月〉西治則子様 ニヤン画展



〈11月〉杉本八尾様 風景画展



〈12月〉宮谷孝子様 布絵展



ボランティアさん紹介



中村 昌弘さん
庭の手入れを一手に引き受けて下さってます。
年中、花が私たちを楽しませてくれます。感謝です。

電話交換機新機種導入

後援会費により新しい機種を導入しました。

電話交換機の老朽化に伴い、8月末に設置工事を行いました。PHSが使用できますので、館内の移動通話が可能となり、離れた場所でも音声をはっきりと聞こえますので、業務に有効利用しております。ありがとうございました。

近江ちいろば会職員

ミュージカルを自作自演

共済会の記念イベントの一環で、法人職員の有志が集まり、「劇団 雅」と銘打ってミュージカルを上演しました。人気韓流ドラマをアレンジした脚本と衣装も全て手作りし、猛練習して臨んだ舞台でした。観客の皆様には大きな拍手をいただき、達成感と感激で一杯になりました。



会場：栗東芸術文化会館さくら

寄付金・後援会費 感謝報告 2009年8月1日～2009年12月31日現在

後援会へのご加入をお願い申し上げます。ご協力頂いております皆様のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。

(順不同・敬称略)

秋野 勉	小泉 なお子
(医)とみおか内科クリニック	坂田 由次
上島 良彦	菅原 博
内川 庸子	扇田 幹夫
内海 初子	辻 康
大島 三鈴	徳田 富美子
大橋 弘	中村 善一
乙幡 和雄	西沢 基子
柏木 一夫	原田 博充
菊室 むら	菩提寺区(区長 龍池馨男)
君村 昌	眞柄 正子
草津教会・信愛幼稚園バザー委員会	松田 恵子



安田 綾子
安野 喜仁・優美
渡辺 サエ子
信愛幼稚園
西村 マツ子
津崎 創・めぐみ
前田 敬子
奈良 馨夫
勝目 紘
小野 一郎
木村 アサ
木村 暁好
田辺 明子
後宮 忠弘・サチ

俳句

自販機の明かり冷たき冬の闇
寒の紅さして最後の舞台かな
一年と無事に過ごして師走かな
電飾の窓辺の師走生き生きと

事業内容

ケアハウス：ピスガこうせい／ほだいじデイサービスセンター／ほだいじホームヘルプステーション／ほだいじ居宅介護支援センター／高齢者支援センターほだいじ／グループホームほだいじ／中央デイサービスしんあい

振込後援会費口座

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)

発行日 2010年1月
発行責任者
理事長 奈良 豊 夫
館長 森 口 茂

明けまして おめでとうございます。

旧年中は、皆様にご厚情を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年は、環境整備として①ケアハウスに入る道に桜公園を開設②デイサービスの床の張替え③電話交換機の交換などを行い、ご利用者様によりよいサービスが出来るように施設整備をおこないました。介護の取り組みとしては、Let's try (先ずやってみよう)のスローガンのもと、各事業所で新しい試みができたと思います。

今年も、小さくまとまることなく、地域の高齢者の方々のために“何が求められているか、何を行わなくてはならないか”を考え・行動していきたいと思ひます。

新しい年も、皆様の更なるご支援をお願い申し上げます。

館長 森 口 茂

職場風土改革促進事業

「NO残業デー活動」スタート!

昨年に引き続き“働きやすい職場づくり”の一環として、今年から「NO残業デー活動」をスタートしました。職員より募集した標語、川柳をポスターにして掲示し、職員一同で取り組んでまいります。

- 自分で舵取り 仕事と私事
- 脱だらだら テキパキさささ ノー残業
- 早よ帰り 明日も笑顔で 仕事したい

ポップサーカス見学

11月4日(水)

ポップサーカスを見に行ってきました!何十年ぶりに見るサーカスに皆さんの目が釘付けでした!



クリスマス特集

クリスマスコンサート 12/17

クリスマスコンサートには、こんご舎様に来ていただきました。幻想的な音色の二胡が奏でる懐かしい曲に皆様しばし酔いしれていました。



クリスマスページェント 12/21

今年も草津教会の信愛幼稚園の園児、お母様、先生の総勢80名が訪問され、クリスマスページェントを披露してくださいました。小さな体で、一生懸命大きな声を出して歌を歌い、劇を演じる姿にケアハウス、デイサービス、グループホームの皆様も感激しきりでした。毎年の訪問ありがとうございます。



クリスマス食事会 12/23

クリスマス食事会では、とても華やかな食事膳に若い大学生の音楽演奏がとても心に残る素敵な時間を過ごしました。



基本理念:人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

普通の暮らしをお約束する10か条 グループホームぼだいじの取り組み

1:地域の方との交流をもつ

毎日のスクールガード(子供達の通学の見守り)の取り組みを通して、自然と地域の方との交流や、お互いのことを知り合える機会にもなっています。また、月に一度の地域サロン(地域の人々の集い)や季節ごとの行事にも参加させて頂き、社会性を続けて持って頂ける支援をしています。



2:支えあい共に暮らす

入居者、介護者という関係でなく、料理と一緒に作り、目の前にいきいきした食材があり、香りや音が食堂に広がり、お年寄りがヤカンにお湯が沸くのを待つ間、入居者間、職員との間に、いろいろな会話が生まれるという関係性を大事にしています。入居者同士の助け合いを大切にしながら職員もさりげなく援助し、共に暮らしていけるよう支援しています。



3:メリハリのある生活(当たり前な生活をおくる)

家におられた時と同じ様な生活をおくっていただける支援(買物、料理、洗濯等)や出かけたいところへ出かけて、会いたい方に会って頂けるようにしています。

また、起きたい時に起き、休みたいときには休んでいただけ、過ごしたいと思われるところで過ごしていただけるよう、見守りながら支援しています。

身体的に弱ってこられても可能な限り、朝は普段の服に着替えて頂きリビングで交流の機会を持ち、生活や他の方の声を感じて頂ける支援をしています。

散歩、畑や花壇での作業、編み物、おやつ作り等それぞれの方の趣味や得意とされているものに応じて、対応しています。

一年に一度一泊旅行を行っています。入居者の方、ご家族、職員と一緒にわいわいお酒を飲みながら宴会やカラオケを楽しんで頂いています。



「グループホームぼだいじ」は、認知症が重度化しても、人間としての尊厳や権利を損なわず、最後までその人らしいあり方を目指します。

私たちは、10か条を遂行することにより、「普通の暮らしをお過ごしいただけるように」努めます。

4:ゆっくり座って 会話を

「認知症」の症状の理解をしたらうでの関わりを大切にし、急いでいても走ったり、不必要に大きい音は立てないように心がけ、話す時は座って話すことを大切にしています。



5:三つの鍵を かけない

物理的：玄関の鍵はかけません。自由に外に出られます
 ぐすり：薬に頼りません
 ことば：禁止・指示の言葉は使いません

ご本人の命に関わる緊急な事態を除いて、転倒などの事故防止のために、ご入居者様の自由を制限する行為は行いません。

6:穏やかにゆっくりとした 時間の流れる生活環境

木造平屋の数寄屋造りになっており、居室以外でもリビングや小上がりなど過ごしていただける場所があり、ゆったりと生活していただくことができます。廊下は二人がすれ違うことができる幅で広すぎず狭すぎず施設感が出ないようにしており、あえて余裕のスペースを作ることでプライバシーに配慮した造りとなっています。



7:家庭的な温かい食事の提供

可能な限りその場で作って食べることを大切にしています。また、嗜好にあわせた食事の提供(作った梅干や自ら購入されたものを好きなときに取り出せる等)や入居者の方に応じた食事形態での提供を行っています。



8:好きな時間に入浴できる (ゆっくりのんびり入る事が出来る お風呂がある)

午前中から夜まで、希望される時に入っています。昔懐かしい木のお風呂で、ゆっくり浸かって頂いています。お好きな方は毎日入って頂いています。



9:トイレで排泄ができる援助

それぞれ入居者の方の排泄の 패턴を確認、把握し、声掛けや誘導させて頂き、不必要なオムツ、リハビリパンツ、パットの使用はせずに、トイレで排泄していただける支援をしています。トイレ使用時もプライバシーを尊重し、尊厳が守られるように努めています。

10:最期まで関わる(看取りケア)

グループホームという住み慣れた環境で、最期まで過ごして頂く為、ご家族とも相談しながら、ご家族とグループホームとで支えていけるよう努力しています。

グループホームぼだいじの対象者は、
 介護度1以上の認定を受けている方
 認知症と診断されている方
 常時の医療が必要でない方

普通の暮らし、当たり前の暮らしを送って頂く事の大切さを感じながら、入居者の方との一日一日を大切に寄り添い、助け合いながら、できるだけたくさんの方に最期まで過ごして頂くことができるように、また、ご家族やご本人にとってたくさんのいい思い出が残せるよう、これからも、努力しながら少しずつでも前進していきたいと思っています。
 見学・相談等ございましたらいつでもご連絡ください。